



遠藤れい子ひまわりレポート

○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3-1-3
☎ 0258-32-1741 fax 32-6443



原発再稼働ストップ

平和・民主交流会で羽賀正人医師が「社会保障とは」について講演 国民の安心や生活の安定を支えるセーフティネット



3/16講演でクイズを出す羽賀医師と答える参加者

3月16日、長岡で平和民主交流会が開かれました。遠藤れい子は共産党を代表し「岸田政権のもとで戦争の準備が加速している。戦争にならないよう憲法9条を守りましょう」と挨拶。各民主団体から報告がされ、会場からも発言がありました。**ながおか医療生協の羽賀正人理事長(医師)が講演。**新型コロナウイルス感染症で、医療介護現場はたいへんだった。コロナは静かに第10波を迎えている。補助金がなくなっても現場はお金をかけて感染対策しなければならぬ。発熱外来すれ

ば赤字になり、診療所では発熱者は診れなくなる。介護報酬は低いにもかかわらず、訪問介護は報酬をさげられる。これでは給与は上げられず、人材確保もできない。増える介護ニーズに対応できない。施設が維持できなくなるのが現実だ。これから我が国は重度要介護者、看取りがピークとなり、経験のない大変な時代がやってくると日本医師会は指摘している。

インフレや物価高でも国民の収入は上がらず、家計は苦しい一方だ。能登半島地震では新潟県内でも大きな被害が出たし、原発は大丈夫か心配だ。

政治倫理審査会での自民党幹部議員の答弁で血圧が上がった。岸田政権は攻撃力のある武器の開発と輸出など軍事費を突出させ、戦争準備を加速している。税金の使い方が間違っている。軍備ではなく、「社会保障」にこそお金を使うべきだ。

新潟県災対連が学習会 液状化被害の 対策を考える

3月17日、能登半島地震で液状化被害が多発した新潟市西区で、地質の専門家の鴨井幸彦さんを講師に学習会が開かれました。液状化のメカニズム、過去の液状化被害のケース、復旧にあたっての課題など、豊富な資料と冊子を駆使してお話しされました。

講演後の意見交換で、「2カ月過ぎたのにヒビ割れがひどくなり、今も家や土地が動いている。この家で住めるのか?」「いつになったら液状化が収まるのか?」「柏崎刈羽原発が心配だ。大丈夫かな?」
「ろうか?」
など切実な声が続々と発言されました。



3/17鴨井さんの熱心な話と参加者

遠藤れい子の 笑顔でファイト

お出かけ、お回りしました。
本原画展など
や路谷虹児の絵
やお雛様祭り
い。お雛様祭り

アラ古稀のお祝いに新発田まで



しゃべり、美味しい料理でリフレッシュ。早咲きのサクラや梅も開花して見ごたえありました。
歯のケアと足腰のストレッチで筋肉を鍛えるなど、日頃の健康管理を大事に、まだまだ元気で頑張るわ。